

マスター2 階段試験

階段昇降運動により心臓に負荷をかける方法です。

規定された速度で3分（1分半）運動し、運動前後の心電図を比べてみていきます。

動いた時に胸が痛い、しんどい、重くなるといった症状が起こる、労作性狭心症や運動によって誘発される不整脈の精査に有効です。

検査方法

運動前の心電図を記録します。

規定速度で階段昇降運動を行います。

昇降する速度は年齢・性別・体重で決まります。

運動終了後はベッドに休み、脈拍、心電図波形がもとに戻るまで記録します。



検査時の注意点・お願い…

- ✚ 階段がやや高めなので、膝痛や杖歩行の方は検査が難しくなります。主治医に相談ください。
- ✚ 当日の体調が悪い場合は、検査前に受付もしくは技師に申し出て下さい。
- ✚ 運動途中で胸の症状が出た場合や、脚の疲労・痛みなど異変あれば技師におっしゃってください。
- ✚ 運動後、胸部違和感、気分が悪い等、体調に変化が現れたら技師におっしゃってください。

検査時間

約20分